

①学校の申請内容の簡略化について

芸術家の派遣事業(学校公募型)における様式4の②被派遣者欄における、採択に直接関係のない項目とは、生年月日、性別、職業、専門分野に係る賞歴、活動実績などである。募集要項には、講師の経歴等に関する条件は示されておらず、採択が決定する前の段階で先述の詳細な個人情報について学校が講師に聞き取りを行うことの負担感は大きい。また、様式4に関連する様式2～3の項目等についても、経費の申請・支払事務の完結等を踏まえ、記載項目の見直しを御検討いただきたい。

②事務局と被派遣者間での経費の申請・支払事務の完結について

令和4年度芸術家の派遣事業(学校公募型)募集要項で、複数校により連続行程を組み実施を希望する場合、様式4-Bを作成し、代表校1校に旅費をまとめて計上することが可能となった。旅費計上しない学校は負担軽減の可能性はあるが、他校分の経費積算を行う代表校の負担は増すと考える。

③申請・報告のワンストップ化

推薦順位付けを希望する都道府県の個別対応について、あらかじめ都道府県の順位付けの希望があるかどうかのみメール等で把握しておき、順位付けの希望がない都道府県については、学校と事務局間で申請・報告のワンストップ化を図っていただきたい。